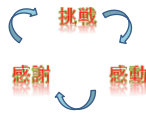


平成30年度 学校評価表(自己評価)



安芸太田町立安芸太田中学校

安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」

ミッション	地域社会に貢献できる生徒の育成	ビジョン	主体的で協調的な学びの推進
学校教育目標	学びを生き方につなぐ教育の創造	学校研究主題	深い学びを引き起こす授業づくり
めざす生徒像	挑戦 感動 感謝の心をはぐくむ生徒		～「知識構成型ジグソー法」を取り入れた単元開発を通して～

中期 経営目標	短期 経営目標	評価項目及び評価方法	評価基準	担当 分掌	中間 評価	最終 評価	達成状況及び改善策	評価委員の意見
学力の向上	学習習慣の確立と学習意欲の向上	基礎的・基本的な知識・技能の定着	①学力調査等…県平均以上の生徒の割合 ②宿題・課題提出率 ③家庭学習時間（学年目標時間達成率等） 1年…1.5時間以上 2年…2時間以上 3年…2.5時間以上	A：70%以上 B：50～70% C：50%以下	C	教務研究部	○全国学力・学習状況調査結果県平均以上35% 9月実施実力テスト結果全国平均以上53% ○宿題・課題提出率79% ○家庭学習時間目標達成率25%	○まだまだ個別の学習が必要である。 ○Cとなっている原因と、本当に改善策としてこれで良いのか。生徒自身はもちろん、保護者への啓発等すぐできるものと長いスパンで取り組まなければいけないこと等を改めて分析してほしい。また小中の連携や、進学先での状況なども。 ○家庭内学習時間、目標時間を設定し実施してみる。そして自主学習でも成果が上がらない点を見つけ、次の対策を話し合い、取組を進めるように考えてみてはどうか！ ○3年生の基礎学力の向上が求められる。競争を助長するのは本意ではないが、学力向上が望まれる。自主学習は保護者の意識向上が不可欠。 ○家庭学習の充実。まずは学習の時間(適切な時間と時間帯の設定)の確保。保護者への啓発と協力依頼。※宿題・課題を学習内容定着の要としているならば、100%提出できる内容とさらなる取組の必要があると感じる。※時間外の教科補習が必要であれば協力したい。 ○家庭での学習時間について、学校から目安時間を保護者へ提示し、保護者の協力のもと、生徒の学力向上を目指してほしい。 ○家庭学習が行えるように、学校から出される宿題以外で、個々のレベルに応じた家庭学習用の教材を紹介してはどうか。(実施されていれはすみません)
	協調学習の実践	深い学びを引き起こす授業の実践	①教職員授業評価アンケート（『話し合う活動』の肯定的評価） ②生徒授業評価アンケート（『話し合う活動』の肯定的評価）	A：80%以上 B：60～80% C：60%以下			B	○教職員授業評価アンケートより「話し合う活動」の肯定的評価56% ○生徒授業評価アンケートより「話し合う活動」の肯定的評価88.4% ・教職員が更に授業改善に取り組み、授業における「話し合う活動」の内容の充実を図る。
社会に貢献する力を育てる	自らの成長が実感できる	進路指導の充実及び進路実現に向かう意欲・態度の向上	①保護者アンケート（進路に関する情報提供への肯定的評価） ②英語検定等の受検率 ③課題作文、科学研究の応募率	A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	B	進路指導部	○保護者アンケートより進路に関する情報提供への肯定的評価94.6% ○英語検定等の受検率60.9% ○課題作文、科学研究の応募率95.6% ・引き続き進路に関する情報提供をしていく。 ・検定等については、次回検定を受けるように声をかけ、準備する。	○1年生からしっかり進路の話ができると良い(目標)。 ○1年生において英語の実力テストが高いことが感じられる。英語検定の受検率向上に取り組んでほしい。外国からの教師がおられる。筒賀本郷地区、広島比治山大教授デーモン氏との交流機会を考えられてはどうか。 ○継続を求める。 ○評価する。(継続してほしい) ○私たちに「見えない所」での向上を求めるには保護者への意識改革が必要となる。学校の責任でないと思う。 ○保護者の危機感が気薄だと思う。 ○家庭学習の一環として、各種検定に向けた学習を取り入れ、検定受検率と合格率の向上を目指してはどうか。

	実践意欲の育成	自己有用感の向上	① i-check・生徒アンケート …自己有用感の肯定的評価	A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	生徒指導部	A	<p>○i-checkより 自己有用感の肯定的評価74.3% ○体育祭生徒アンケートより 自己有用感の肯定的評価97.0%</p> <p>○不登校や重大ないじめ等の状況はないということなので、引き続き自己有用感の向上に努めてほしい。 ○少人数の学校ならではの、自己発信、達成感が力になると思う。大いに期待する。全員に役割を持たせてほしい！ ○3年生を主役にする。そう思わせる工夫。（まず、校内掲示物の刷新や講話など）※自尊心・自信・自己肯定の向上→意欲・目標・言動 ○自己有用感が高い評価であるが、生徒全員ではない。100%になるように、生徒一人一人が適切な役割を担えるように取り組みをお願いする。 ○生徒同士がお互いの違いを認め合うこと、出来ること出来ないことがあることを認め、助け合いながら学校生活を過ごせるようになるのが理想。</p>
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	① 生徒アンケート・生徒の感想 ② 保護者・地域アンケート ・「ボランティア・地域活動等参加」への肯定的評価	A：80%以上 B：60～80% C：60%以下		A	<p>○「ボランティア・地域活動参加」への肯定的評価86.5%</p> <p>○地域とのかかわりは大事にした方が良いのでこれからも続けてほしい。 ○地域活動という位置づけで、組織的に活動できる体制をつくったところは、持続できる良い仕組みだと思う。若者の力が必要なところはたくさんあるので、よろしくお願ひしたい。（これからの時期雪かきなども） ○地域活動への参加により、地域へ貢献してくれている姿に、振興会員は中学生諸君に感謝している。若い力の明るい援助に勇気づけられ楽しい一日を過ごすことができている。また、生徒達の参加は、あとあとの思い出となることであろう。ありがとう。地域貢献活動は何をされても良い。長く長く安芸太田中として継続することを期待する。 ○教員以外（卒業生・地域の方・地域の関係者等）をゲストティーチャーとした進路に関わる講話を行うと良い。 ○中学生が地域貢献活動へ参加するということで、多くの方々から、期待と応援を込めて昨年度広島県共同募金会を通して多くの募金を頂いた。その期待に応えるべく、多くの場面で安芸太田中学校の生徒が地域貢献活動をする姿を見られることを願っている。</p>
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	①保護者アンケート ・学校教育に対する満足度 ・「地域公開・授業公開」「ホムレター」・学校通信等情報発信」に対する肯定的評価	A：80%以上 B：60～80% C：60%以下	総務部	A	<p>○学校評価アンケートより 学校教育満足度（全項目肯定的評価平均）87% 情報発信への肯定的評価97.3% 開かれた学校づくりへの肯定的評価97.3%</p> <p>○細やかな指導に敬意を表す。校長先生の学校経営に対する考えを確固として、推進できるよう応援している。 ○学校に対する保護者からの信頼・安心度の高いことがうかがえる。地域への学校の様子等は毎月の町広報紙と共に別冊で添付されている通信が各戸へ配付されてわかりやすい。 ○校外（筒賀地域内・戸河内地域内）で登下校中、生徒の目線から見ただけ危険箇所・危険度を点検し教えてほしい。 ○中学校通信は欠かさず見ている。学校の活動の要点が網羅されていると思う。 ○生徒の学びの拠点であり、地域の拠点でもあると思う。中学校と校区住民が協力し合い安芸太田中学校を運営して行ってほしい。中学校に通う生徒の保護者以外にも学校の応援団を増やしていくために、中学校に地域住民が行く機会を増やしてほしい。生徒がいないと学校との縁が途絶えるという話を聞くので、生徒たちとふれあう機会として、学習の中で可能な範囲で組み込まれることを願ひしたい。</p> <p>・学校安全に係る環境整備のより推進が求められる。 ・地域の協力により点滅信号や街灯等が設置された。</p>